

第27回JA全国大会でJAグループがめざすもの

- JAは、組合員が出資・運営し、自らが必要とする事業の利用を目的とする協同組合です。農業者と地域住民が必要とする営農と生活を支える総合事業を展開しています。
- 地方の人口減少や超高齢社会、農業者の高齢化等による農業生産基盤の急速な脆弱化などの厳しい環境下で、農業振興、地域振興、農業・農村の多面的機能の発揮に重要な役割を発揮し続けるため、JAは、総合事業を営み、そこに住む者の力の全てを結集し、農業者・地域住民が一体となった協同活動に取り組みます。
- こうした取り組みで、「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域社会の実現」「協同組合としての役割発揮」をめざします。
- これらをふまえ、第27回JA全国大会実践期間中(平成28～30年度)は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革を通じた「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の確立に取り組みます。

